

東京地學協會記事

○第三十九年總會 來る四月二十七日（土曜日）

午後一時より本會々館に於て第三十九年總會を舉行するに決し本會總裁

載仁親王殿下 台臨の儀御治定あらせられたり

○例會 大正七年三月二十二日午後六時より本會第二講義室に於て例會を開き左記講演ありたり、出席者は井上主幹、福地主幹、栗塚監事、清野信雄、小倉勉、千谷好之助、早坂徳四郎、門倉三能、副島八十六、庄司義基、長岡外史、鳥居龍藏、西尾銈次郎、脇水鐵五郎、小田亮平、渡邊久吉、徳川伯爵、田中館秀三、小藤文次郎、小川琢治、神保小虎、山崎直方等の會員及新聞記者其他傍聴者三十餘名ありたり

一廣島、岡山兩縣の地形と第三紀層の分布に就て

理學士 小倉 勉君

一有史以前に於ける滿蒙韓及沿海州の關係に就て

鳥居 龍藏君

○評議員會 例會後本會第一會議室に於て評議員會

を開き、井上主幹、福地主幹、長岡、徳川（伯）、山崎、神保、庄司各評議員、栗塚監事出席の上左記三氏の入會を承認せり

理學士 鈴木政達君（井上禧之助、福地信世兩君保薦）
工學士 島村金次郎君（井上禧之助、福地信世兩君保薦）

中野祐美君（井上禧之助、福地信世兩君保薦）

○會員死亡

本會創立當時よりの會員たる男爵關義臣君は豫而病氣の處藥石其効なく大正七年三月三十日麻布の邸宅に於て逝去せられたり、本會より井上主幹同邸を訪問し左の弔詞を靈前に捧げ、四月四日葬儀に列せり

東京地學協會ハ會員男爵關義臣君ノ逝去ヲ悼ミ
恭シク弔詞ヲ呈ス

大正七年四月四日

東京地學協會々長 侯爵 鍋島直大